

第 39 回献体実務担当者研修会参加報告

医学系部門 基礎社会医学班 清水伸輝

1.はじめに(目的等)

全国の献体処置に携わる職員(教員、技術職員、事務員)や篤志会会員が参集し、実務を行う上での問題点、改善方法について意見交換を行う会であり、これらに参加し、献体処置やそれを取り巻く全国の状況に関する情報を得る事を目的とする。

2.期間・場所

期間:2022年11月18日(金)

場所:愛知医科大学 本館 2F たちばなホール

3.参加者等

献体処置に携わる職員(教員、技術職員、事務職員) 約 120 名

4.研修内容

講演:「献体業務のリスク管理」をテーマとし各大学からの事前アンケートからの報告

ワークショップ(グループ懇談):少人数グループで意見交換、討論

発表・総合討論:全体での討論

5.まとめと感想

今回の実務担当者研修会では、解剖学実習のためのご献体の不適切な対応や、納棺時に発生したご献体の取り違えが発生した事による事前アンケートの結果報告より、献体業務のリスク管理についてのワークショップを行い、献体業務(受け入れから返骨まで)のマニュアル作成や教員・技術職員・事務職員間での情報共有をする事によりリスク低減になるのではと再認識する事が出来た。